

<スクールアルバム>

<前期終業式>

- ・サムエル伝道師から聖書のお話し
- ・各学部で暗唱聖句発表（↓小学部男子）



赤い羽根共同募金を呼びかけました
24,065円募金が集まりました。
感謝！（中高 HOPE）



全校生徒でスポーツ大会
・まずは準備体操～
・さわやかにハイタッチ！

<鎌倉見学> 小6
鶴岡八幡宮の大銀杏の前

ハンガーゼロから頂いた種から成長した小松菜、二十日大根を収穫！



<ヤダ ICS オンライン交流会> 小学部

<ヤダ ICS オンライン交流会> 中学部 一緒にゲーム！また来年ねー。



胸に韓国語の名前を貼って一緒にゲーム



お願い・ご報告

- 10月の学校の活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力感谢您します。
- 11日（土）10時～12時、クリスタルチャペルにて、岩上真歩子氏による「傾聴」・聞き方セミナーを行います。参加費2,000円です。親子関係にとっても役立つ学びで、途中回からの参加もできます。（問い合わせ先：鈴木桜子）
- 各ご家庭に、ハンガーゼロ「世界食料デー」募金箱を配布いたしました。貧困や飢餓を覚えて、ご家庭ごとに取り組んでいただき、11月30日（木）までに、募金箱をスクールに持ってきてください。ご協力をお願いします。

今月のみことば（暗唱聖句）

「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。」ヨハネ 1:12

“As many as received Him, to them He gave the right to become children of God, to those who believe in His name” John 1:12

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈禱課題

1. スクール全体に主の愛が満ち、互いに尊敬しあうことができるように。
2. スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき、身体も支えられて喜びをもって指導にあたることができるように。
3. 保護者会や文化祭が祝福されるように。
4. 学校法人への道が開かれていくように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 11月号

2023.Nov. 1

VO I.196

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「関係の力」

平和台教室 副担当 岡田いずみ

のあ IS では、生徒たちは多くのことを学んでいます。その中で大切な学びがあります。人と人との関係です。人の心は温かいものを受けていると温かいものを流せます。ある授業で生徒が、「お母さん、のどが痛いって言ってたけど、だいじょうぶかな」と、つぶやきました。私の話が耳に入らないほど、心配している様子でした。私は、その優しさに感心し、共にお母さんの体のためにお祈りしました。お母さんから愛情をいっぱい受けているから優しい心が、あふれるんだと思います。お祈りした後、話をしっかり聞けるようになったのです。

人と人の間に流れる温かいものは美しいです。力もわいてきます。その生徒はお母さんのためにお祈りした後、良い学びができました。しかし残念ながら人と人との関係で傷つき合い、心の力を失ってしまうこともあります。聖書の中に「すべての人は罪を犯した」(ローマ 3:23) というみ言葉があります。たしかに、全く悪い事をしたことのない人はいないでしょう。罪は時に人の心を傷つけます。子どもの心も傷つきます。人から傷を受け、悲しい心となり、人を傷つけ苦しい心となります。人類は傷つけあう歴史です。でも「神は愛である」(ヨハネの手紙第一 4:16) と聖書にあります。傷をもたらす罪に対して、神様は赦す道、癒す道を開いてくださったのです。

のあ IS の生徒たちも、心に悲しい、苦しい傷を感じる場合があります。先生にお話を聞いてもらい、癒してくださる神さまを信じてお祈りしている生徒を見かけます。自分の悲しさ苦しさを聞いてくれる関係を持てることは大切です。生徒たちにその関係が与えられている背後に保護者の方々の子どもの思う愛情があるなど、私は感じます。親の愛は祈りとなり、神様は子ども達に良い関係の場を与えてくださるのです。人と人との関係は時に傷つき合い、人の気力を弱くすることがあります。また、人と人との関係に温かいものが流れ合う時、励ましとなり、良いものを生み出す力となります。

のあ IS では、神様が与えてくださる温かい関係を味わっていただけるよう、そして、生きる喜びを知っていただけることを願い祈っています。

11月のカレンダー

日	月	火	水
			1日 合同礼拝（1限） 「星野富弘 花の詩画作品展」見学 （ダイヤモンドチャペル）
5日	6日 H先生誕生日	7日	8日 代休 W先生誕生日
12日	13日 Rさん誕生日	14日	15日 合同礼拝・生徒祝福式（1限） CMA ダンス宣教チーム交流会（ダイヤモンドチャペル）
19日	20日	21日	22日 学部別礼拝 消防訓練（保育園合同）
26日	27日 代休	28日 栄区社会福祉協議会表彰大会参加 （15時30分～16時 栄公会堂）	29日

- ・ 1日（水）、ダイヤモンドチャペルにて行われている「星野富弘 花の詩画作品展」を見学します。
- ・ 3日（金・祝）、こどもの国にて”ジョイジョイキッズ&ファミリーフェスティバル”が開催されます。スクール生は登校日とします。中高 H 生は、フェスティバル奉仕、小学生は、参加をお願いします。詳細は、各学部よりお知らせしてありますので、ご確認をお願いします。代休は、8日（水）とし、休校です。
- ・ 15日（水）1限、合同礼拝の中で、生徒祝福式を行います。一人ひとり牧会者にお祈りしていただきます。
- ・ 15日（水）、ダイヤモンドチャペルに移動して、アメリカコロラド州の CMA（Celebration Ministry of Arts）ダンス宣教チームと交流会をします。
- ・ 16日（木）～22日（水）は、後期中間テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 18日（土）13時30分～15時30分、クリスタルチャペルにて保護者会をします。「家庭における性教育」というテーマで月井先生に語っていただきます。性についていろいろな情報が溢れている中で子供達が混乱しないように、聖書から見る価値観をご一緒に共有していきましょう。是非お父さんもお母さんもお参加ください。
- ・ 22日（水）9時45分～10時30分、保育園と合同で、消防署による、消防訓練を行います。
- ・ 25日（土）11時～16時、実行委員会主催で、のあ IS 文化祭を開催します。ご家族の皆さまの参加やお手伝いをお願いします。バザーの献品も募集しています。当日は通常登校、下校は、小学生は16時15分、中高 H 生は17時です。スクールバスもあります。また、前日の24日（金）午後は、準備日にします。詳細は後日お知らせします。ご協力をお願いします。なお27日（月）を代休とし、休校になりますのでご確認をお願いします。
- ・ 28日（火）、栄区社会福祉協議会表彰大会が、栄公会堂で行われます。スクール生は、大会フィナーレ（15時30分～16時）で歌の奉仕をします。5限にスクールでリハーサルをし

木	金	土
2日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム I先生誕生日	3日 文化の日 ジョイジョイキッズ&ファミリー フェスティバル(こどもの国)	4日
9日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	10日 委員会活動	11日 Rさん、I先生誕生日
16日 ← 後期中間テスト週間(中高等部) →	17日 クラブ活動	18日 保護者会(13時30分~15時30分)
23日 勤労感謝の日	24日 文化祭前日準備(午後)	25日 のあIS文化祭(11時~16時) 通常登校 小学生16時15分下校・中高H生17時下校
30日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム		

てから公会堂に移動、解散は16時過ぎ、栄公会堂になります。入場は自由ですので、保護者の方の見学を歓迎します。

- ・保護者・スタッフ向けバイブルタイムを毎週木曜日に行っています。子ども達が日々恵みを受けている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。

2日(木)、9日(木)、16日(木)、30日(木)の13時15分~です。問い合わせは鈴木桜子まで。



子育てnote

仕えることの祝福

かなり前のことになりましたが、私はあるとき、自分の人生の中における血洗いの祝福について考えたことがあります。小学校5年生の終わり頃に、父と再婚して我が家にやってきた私にとって2人目の母との生活が始まった中、その母との心の通い合いが進んでいったのは、台所においてでした。私はよく血洗いを手伝いながら、その母と会話していたのです。やがて、この母との関係が、私の人生においては大きな祝福となり、私の人生は飛躍的に向上していきました。大人になってクリスチャンとなり、宣教師の勧めで英国のウェールズ地方にある聖書学校に学びに出かけていきました。木島先生によって、ロンドンの港で船員伝道している宣教師家族を紹介され、休暇のたびにその家を訪れ、共に船員伝道をして生活させていただきました。やがて、その学校を終わってから、ウィクリフ夏期言語講座を待つ9ヶ月の間、その家に居候させていただくことになりました。その居候している間、その家の奥さんと会話が弾んだのは、私が血洗いをキッチンを手伝っていた時でした。その奥さんを通して、私は、今の自分の妻との出会いの道が開かれていきました。血洗いが、自分の人生にとっていかに祝福のきっかけであったか思い起こし、子どもたち・孫たちがしょっちゅう出入りする今のわが家においても、血洗いを率先して自分の使命とすることを決心しました。多い時には18人が集まる我が家ですが、その皿の量も相当になります。でもどんな時にも、私は率先してそれをやることにしています。そして、感じるのです、祝福が広がっていると。私たちが、自分で本気で仕える姿勢を表していく時、お互いに仕える姿勢がいつの間にか形成されていきます。そこには、とても良い雰囲気が流れていきます。

校長 月井博

